

認知症作業療法 活動報告(概要)

京都府作業療法士会は、事業局公益部内に設置されている認知症支援委員会(2019年10月現在14名の委員で構成)が、他部局や委員会をはじめ、認知症カフェ支援協力者との協働を含めて、認知症関連団体とも連携し、認知症に関する公益活動に取り組んでいる。

本人の活動を重視する認知症カフェ支援アドバイザー派遣事業(2018年度に続き京都府より受託)

支援依頼の内容に応じて、府下の認知症カフェにアドバイザーを派遣し、認知症カフェの運営に関わる助言を行う。アドバイザーは、認知症カフェへの支援経験を有し、アドバイザー養成研修を受講した府士会所属の作業療法士である。

2018年度は計9カ所のカフェにのべ47回、99名のOTを派遣した。

2019年度は計9カ所を支援中(内3カ所は新規、6カ所は昨年からのフォローアップ)

認知症ケース検討会

京都市からの依頼を受け、助言者として委員を中心にOTを派遣している。

認知症カフェの運営協力

2013年より、認知症カフェの運営に関与し、京都市・宇治市で計6カ所のカフェへOTの派遣を継続している。また、見学等可能なカフェをマップ化して府士会HPに掲載し、カフェと府士会員をつなぐコーディネートも行う。

北区・上京区認知症サポートネットワーク連絡会、西京区認知症ケア協議会への関与

当事者団体、医師会や行政、各支援機関などで構成されており、種々の取り組みへの協力と情報共有・発信を行っている。

認知症アップデート研修

2017年度は66名、2018年度は45名が修了した。

2019年度は“認知症の人と家族の会”からも講師を招く予定で絶賛準備中！

RUN伴への参加

2018年度に京都府作業療法士会として初エントリーし、会員家族を含む8名(大人7名、子供1名)が激走した。

2019年度も5名がタスキをつないだ。

認知症初期集中支援チーム員情報交換会(新規)

認知症カフェのようなやわらかい雰囲気意見交換を行い、互いの苦労や課題、希望を分かちことで元気を持ち帰ることを目的に情報交換会を開催した。

認知症初期集中支援チームに関与している会員9名、チームの活動に関心を寄せる会員10名が参加。

今後も継続開催予定。

今後の展開

- ・京都市外のOTとの連携強化(Web会議の試行と実用化等)
- ・認知症の人と家族の会との連携
- ・他士会との継続的連携(埼玉県士会との共同研修をはじめとした他士会との相互講師派遣等)
- ・各種依頼へのタイムリーかつ良質な対応のための体制強化



RUN伴2018



認知症初期集中支援チーム員情報交換会